

大泉辛酉講の歩み 講元 加藤 友久

大正十年に初代講元 加藤彦次郎（私の曾祖父）が大泉村（現練馬区大泉学園地区）の親しい地域の数名の方と武蔵御嶽神社へ初めて参拝し須崎様（当代・須崎裕様の御祖父様）を御師とし、その年の四月十四日に講が発足いたしました。講名は地域名の大泉とその年の干支より「大泉辛酉講」と名付け今年で講設立より九十二年目の比較的历史の浅い講で現在の講員数は四十三名の講であります。何故干支の名を講名に付けたのかは今では定かでは御座いませんが「辛酉」の事を少し調べてみると「革の日」とあり日本の歴史上のレコードとなる平安京（約400年間）が長岡京より遷都したその日は延暦十二年（794年）の十月二十二日、その遷都を命じた桓武天皇が即位した年が天応元年（781年）でありいずれも「辛酉」の年でありました。革まり何か新しき事を始めるには良き年であり初代講元は自分たちの講も平安京の様に永く栄えるよ

うにこの願もあり講名を決めたのではないかと思われず。

正月元旦には講員のご家族も含めて家族一同大勢で御嶽神社に出掛け元旦祭の御札を御預りしてくるのが毎年の恒例で参拝後の須崎御師様宅での直会も賑やかで楽しい一年の始まりの日であります。今は道路事情も良くなくなり日帰りでの参拝が楽になりましたが、初代講元の時代は大晦日からの一泊での行事であったと聞いています。私の子供の頃は朝、親から貰ったお年玉で参道売店にて、玩具を買うのが楽しみで正月の御嶽神社への初詣に出掛けるのが待ち遠しかったものでした。

二月の末には当代御師須崎裕様と御子息須崎茂樹様のお二方に当方へおいで頂き講中を廻り「大口真神」様の御札替えの神事を執り行つていただきました。この日の前後には世話人会を開催し以前には「くじ引き」でその年の代参人を決めていたのですが御師様のご指導もあり現在では順番制にして何時の時に代



参の年となるのか判る様にさせていただきます。なお代参の月日は四月十四日となっております、現在もずっと続いております。わが講には記念碑が二つありまして、一つ目は初代講元の時（昭和三十八年）に講中の方々と御奉納させていただいたものと、二つ目は二代目講元（私の父）が平成元年に講中一丸となって御奉納させて頂いたものが神社参道石段脇に御座います。平成元年の記念碑建立より二十三年たち武

蔵御嶽神社「参道石段修復事業」に際しまして、わが講よりも講員全員からの貴重な御浄財を御寄進させて頂き講碑近くの一角に五段の石段を御奉納させて頂く事ができました。茲に無事工事も完了し「渡り初め式」を執り行い、併せて太々神楽の御奉納もさせて頂く事が出来ました。地域の様子や講員の生活様態が変化してゆく中で今後はその様に講を維持・発展させるのが課題かと思っております。今後須崎御師様の御指導の元にお世話人様、講員の皆様と共に開講以来九十二年の伝統を守りながら今後も講の維持に努力してまいります。最後に武蔵御嶽神社の益々の御隆盛と須崎御師様ご家族の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

奉祝 三宅宏実選手 ロンドン五輪 銀メダル!!



輝かしい成績を残されました。神職一同、深くお喜び申し上げます。この度、三宅宏実選手は当社を訪れ、御嶽大神に銀メダル獲得の報告をされました。御父上・叔父上と二代に渡り御参拝頂きまして、敬神の念の深さに、感嘆致します。三宅宏実選手の、一層のご活躍を祈念させて頂きます。



ロンドン五輪・女子重量挙げ四十八キロ級で銀メダルを獲得した三宅宏実選手が、銀メダル獲得のご報告に参られました。年始めに当社を訪れ、必勝祈願をされ、大神様の御加護を頂き研鑽をつみ、この度のロンドンオリンピックにおいて、銀メダルという、

狼の練り歩き

七月下旬から九月中旬まで、御岳山商店組合により「レンジョウマまつり」が開催されました期間中は数多のイベントが行われ賑わいを見せました。中でも青梅アートジャムによる狼の練り歩きは、横浜美術大学の卒業生と在校生が、民話を元に創作の舞や道具を作り上げ、次代を担う若きアーティストの皆様による新たな舞台となり、幻想的な空間を作り上げていました。来年も登山の折には、可憐なレンジョウマと色々なイベントをお楽しみいただけたらと思います。



太占祭と 太占守り

この祭事は、一月三日早朝に行われ秘事とされ一般には公開されていません。鹿の肩甲骨を齋火で灼き、できた割れ目の位置で農作物の出来を占うものです。

祭典早朝、祭場の中心にある炉で、三種神宝祝詞を三度奏上する間、齋火で焙られます。焙られた骨は社務所で判定され、豊作は十として、十段階に

されます。近年はこの祭場をパワースポットと称し、撮影されて行かれる参拝者も見受けられます。結果表と、神事にて用いた肩甲骨は挽き頒けて皆様の守護となるよう頒布しております。齋火にて灼き、清められた霊験灼かな鹿骨が貴方に智恵をあたえ、人生を開く原動力となる事でしょう。混迷する現代社会において、神様の御心をただけただらと思いません。



日	祭	御	日	三	月	一	祭	占	大	社	神	蔵	國	武	平
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	成
初	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	七
日	月	年	日	月	年	日	月	年	日	月	年	日	月	年	七